



**BOM for Windows Ver.8.0**

**バックアップ機能**

**ユーザーズマニュアル**

---

## 免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

## 著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

## 商標

本ユーザーズマニュアルに記載されている「BOM」はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。また、本文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では、「TM」（Trademark）、「(R）」（Registered Trademark）は明記しておりません。

---

## 目次

### 本書について

表記について

使用方法

環境説明

### 第1章 システム構成

1. 動作概要

2. システム要件

### 第2章 インストール

1. BOM バックアップ機能の動作要件

2. BOM バックアップサービス インストールの事前準備

3. インストール手順

(1) Windows Server バックアップのインストール

(2) BOM バックアップサービスのインストールと設定

### 第3章 アンインストール

1. アンインストール前の事前準備

2. アンインストール手順

### 第4章 バックアップサービスの詳細設定

1. BOM Backupサービス設定画面

2. 共有フォルダーの指定について

3. BOM Backupサービス詳細設定画面

### 第5章 バックアップファイルのリストア

### 第6章 イベントログメッセージ一覧

---

# 本書について

## 表記について

本書では、以下のとおり省略した記載を行う場合があります。

製品名、または省略しない表記	本書での記載（略称）
BOM for Windows Ver.8.0 SR2	BOM 8.0
BOM for Windows Ver.8.0 バックアップ機能	BOM バックアップ機能

## 使用方法

本書には、BOM バックアップ機能を使用する際に必要となる詳細な情報と手順が記載されています。

- BOM 8.0のインストールに関しては'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル'を参照してください。本書はインストールが正常終了した後の実際の使用方法について記述しています。
- 本ユーザーズマニュアルを使用するには、Microsoft Windows オペレーティングシステムについての実際的な知識と、BOM 8.0 の基本的な知識が必要です。
- 本書には外部のウェブサイトへの URL が記載されている場合があります。  
PDF 形式のユーザーズマニュアルでは使用する PDF リーダーによってこの URL が自動的にリンク化される場合がありますが、URL に改行が含まれていると正しいリンク先に遷移できません。このような場合は URL をコピーし、ブラウザに貼り付けて表示してください。
- 本書に更新・訂正などが生じた際は、弊社ウェブサイト上で情報を公開しますので、あわせて参照してください。

## 環境説明

- 本書では、コンピューターの操作画面として、主にWindows Server 2022で取得した画像を使用しています。お使いの OS によって表示内容が若干異なる場合がありますが、適宜読み替えてください。

# 第1章 システム構成

---

## 1. 動作概要

BOM バックアップ機能は、BOM 8.0が導入されたWindowsコンピューターに、BOM バックアップサービスを追加インストールすることで動作します。

BOM バックアップ機能を利用することにより、ローカルマシン、リモートマシンのフォルダー・ファイルを簡単にバックアップできます。

## 2. システム要件

- インストール先のOSやシステム構成が、BOM 8.0 の動作要件に適合していること。
- BOM 8.0 がインストールされ正常に動作していること。
- インストール先ボリュームに10MB以上の空き容量があること。
- OSの機能"Windows Server バックアップ"機能をインストールしてあること。
- リモートマシンのファイルをバックアップする場合、リモートマシン上に以下の設定を実施していること。
  - OSの機能"Windows Server バックアップ"機能のインストール
  - BOM Helperサービスのインストール
  - BOM バックアップサービスのインストール
  - BOMの基本ライセンスが登録されていること

# 第2章 インストール

---

## 1. BOM バックアップ機能の動作要件

BOM バックアップ機能は、Windows Serverベースのコンピュータで動作します。

導入先コンピュータの要件については、'BOM for Windows Ver.8.0 インストールマニュアル' でシステム要件を参照してください。

- Windows クライアントOS上では正常に動作しません。

## 2. BOM バックアップサービス インストールの事前準備

BOM バックアップサービスをインストールする際は、事前に以下の準備を行う必要があります。

- 管理者権限を持つアカウントでログインしていること。
- Windows監視インスタンスのライセンスキーが登録してあること。
  - ※ 評価版ライセンスキーの場合、評価期間が切れているものを使用することはできません。
- BOM 8.0 マネージャーを終了していること。
  - ※ 監視サービスは稼働していても問題ありません。
- BOM 8.0 コントロールパネルを終了していること。
- Windows Server バックアップの機能がインストールされていること。

### 3. インストール手順

インストール作業には管理者権限が必要です。管理者権限を持つアカウントでログオンして作業を行ってください。

※ 以降の手順は必要な作業項目の概要のみを抽出した概略手順です。BOM 8.0の詳細な導入手順は、'BOM for Windows Ver.8.0 インストール マニュアル'を参照してください。

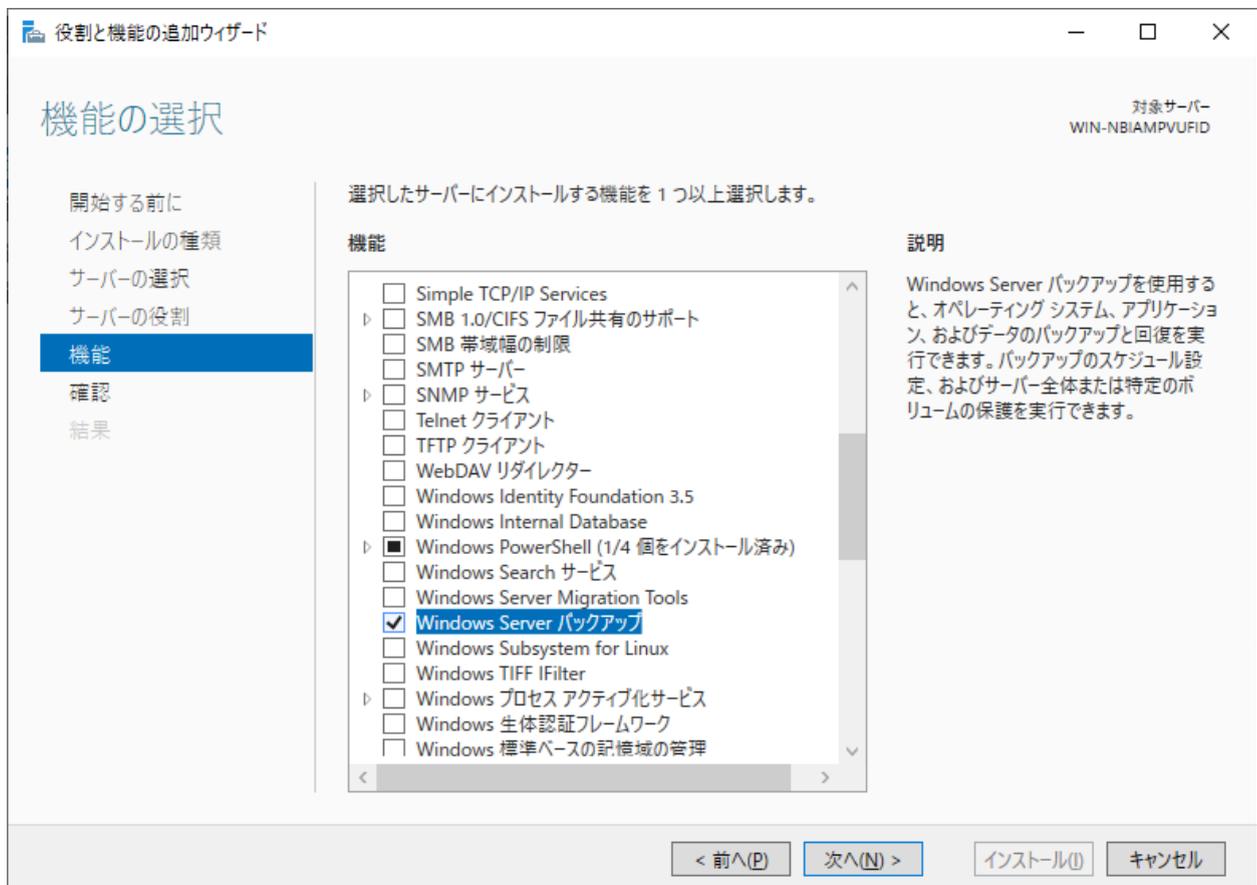
※ Windows Server バックアップの導入の詳細については、マイクロソフト社の技術情報を参照してください。

#### (1) Windows Server バックアップのインストール

BOM バックアップ機能を使用するためには、Windows Server バックアップを事前にインストールする必要があります。

BOM バックアップ機能を使用するOSにWindows Server バックアップ機能のWindows Server バックアップがインストールされていない場合は、以下の作業を実施してください。

1. スタート画面より、"サーバー マネージャー" を選択します。
2. カテゴリ"プログラム"の"役割と機能の追加"をクリックします。
3. "役割と機能の追加ウィザード"を"機能"まで進めます。
4. 表示された一覧の中から"Windows Server バックアップ"を選択し、インストールします。

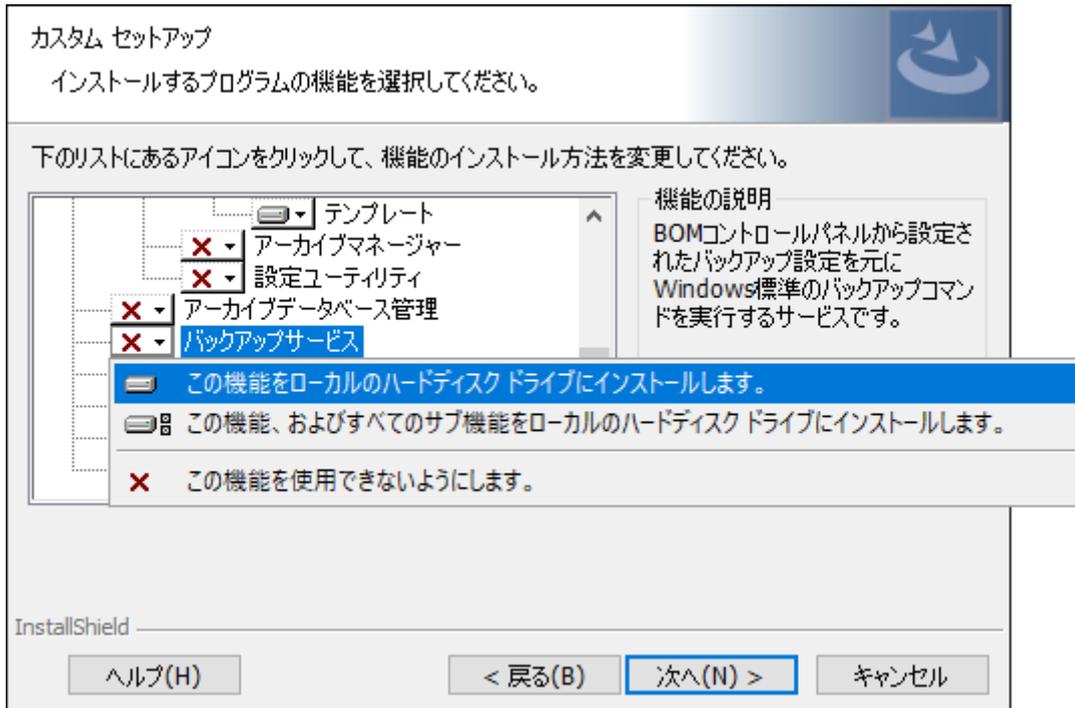


#### (2) BOM バックアップサービスのインストールと設定

BOM バックアップ機能を使用するためには、以下の手順で BOM バックアップサービスをインストールおよび設定してください。

## A. BOM バックアップサービスのインストール

1. BOM 8.0のインストールパッケージに格納されている"autorun.hta"を実行し、インストールランチャーを起動します。
2. "BOM 8.0 のインストール"直下にある"基本製品" をクリックし、セットアップウィザードを起動します。
3. "プログラムの保守"画面まで進め、"変更" ラジオボタンが有効になっていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。
4. "カスタムセットアップ"画面で"バックアップサービス"のアイコンをクリックし、"この機能をローカルのハードディスクドライブにインストールします。"を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。



5. 以降はセットアップウィザードに従い、"BOM バックアップサービス"のインストールを完了させます。

## B. BOM バックアップサービスの設定

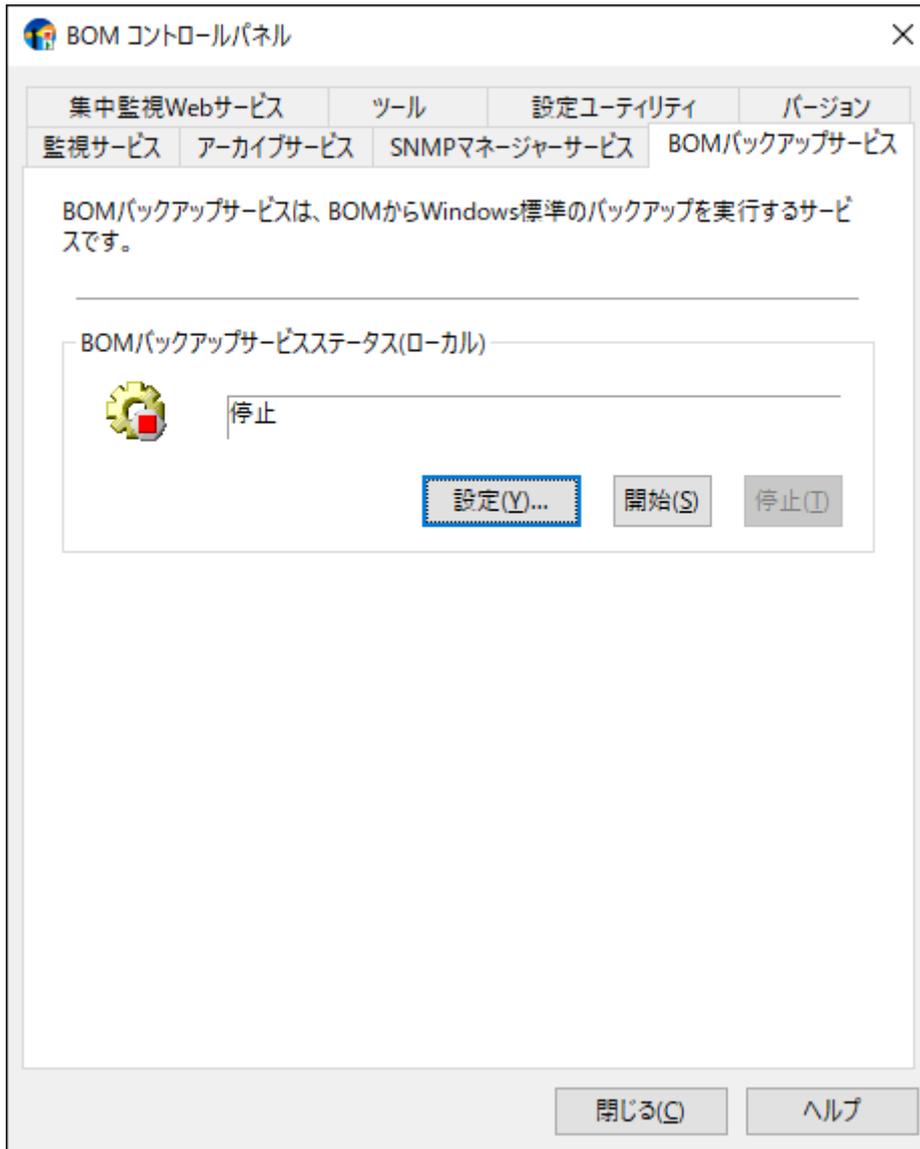
BOM バックアップサービスでバックアップを実施するためには、事前にバックアップ対象の設定を行う必要があります。設定手順の概要は以下のとおりです。

※ 詳細な設定については、[「バックアップサービスの詳細設定」](#)を参照してください。

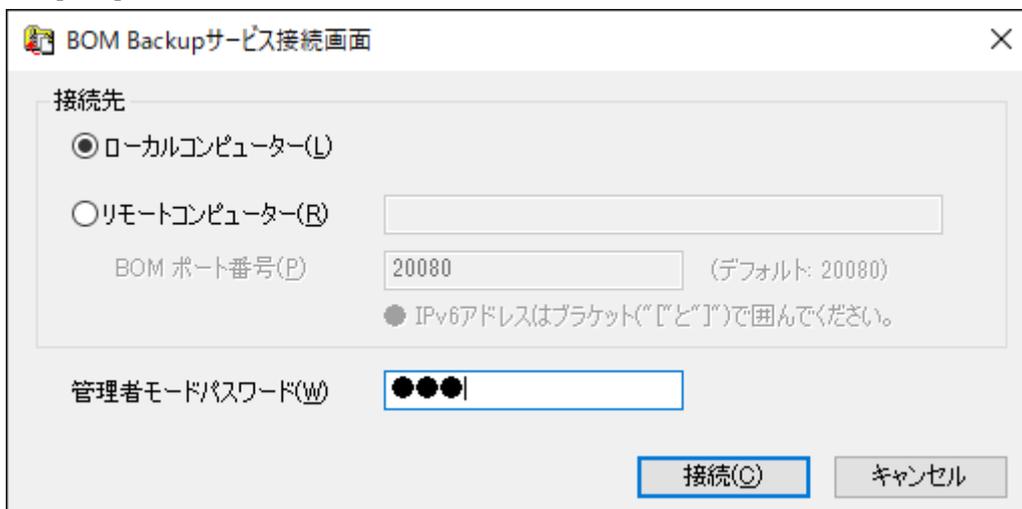
1. スタートメニューより、"BOM for Windows Ver.8.0"の"BOM 8.0 コントロールパネル"を選択します。

2. BOM 8.0 コントロールパネルが起動します。

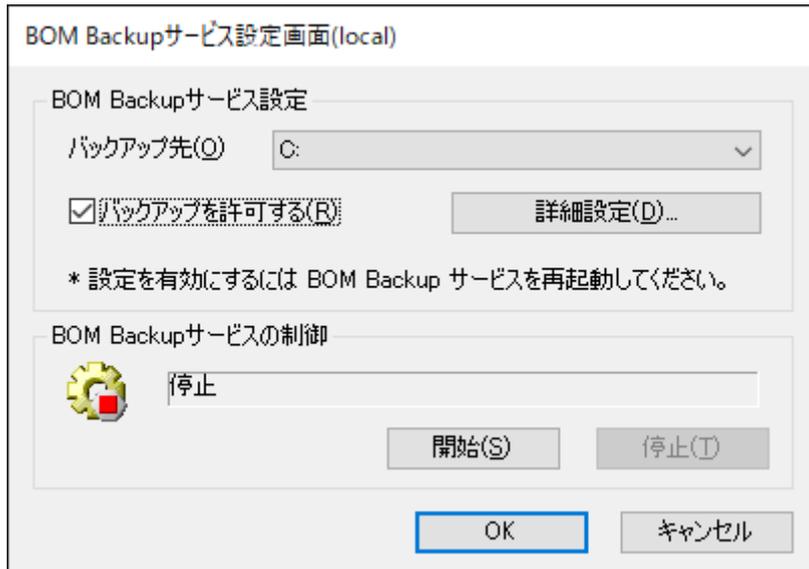
「BOMバックアップサービス」タブを選択して、[設定]ボタンをクリックします。



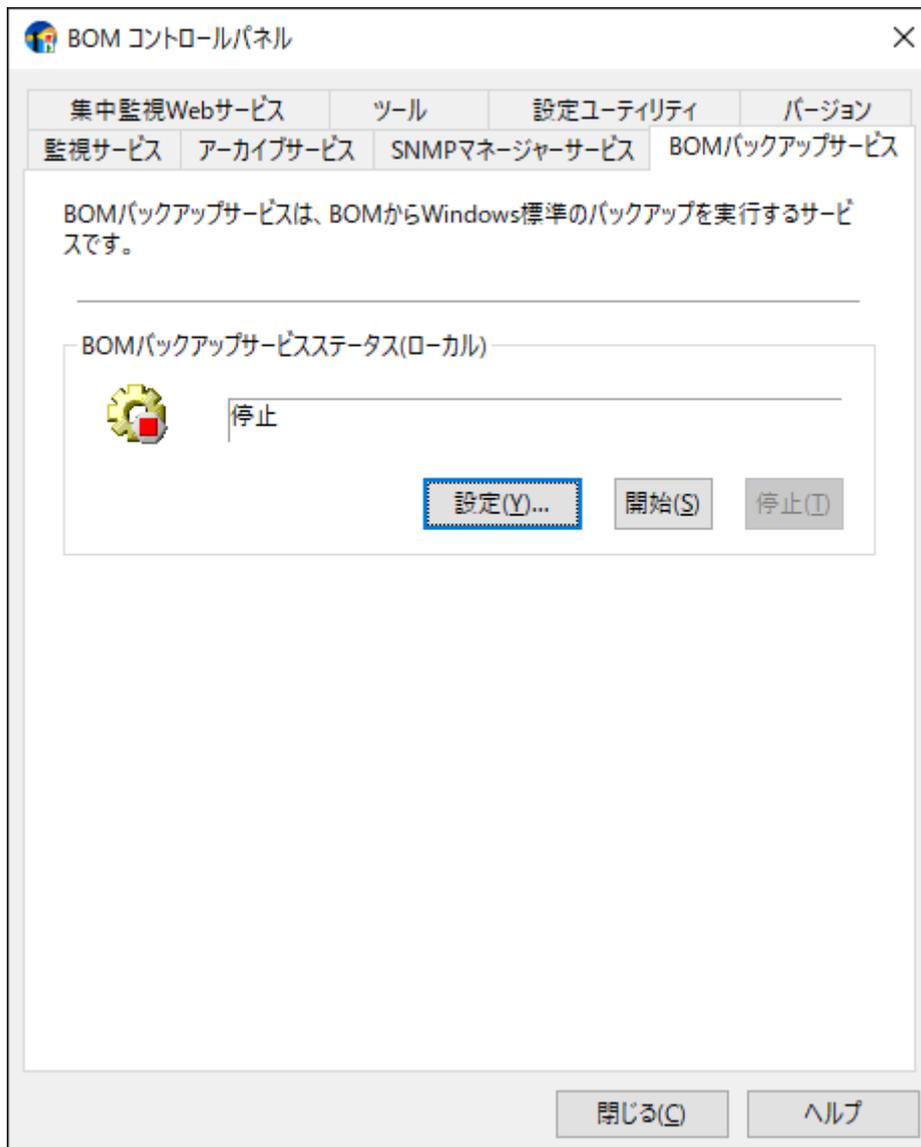
3. "BOM Backupサービス接続画面" が起動します。接続先を指定後、BOM 8.0の "管理者モードパスワード" を入力して[接続]ボタンをクリックします。



4. バックアップ設定先のドライブレターを指定し、"バックアップを許可する"のチェックボックスへチェックをいれて [OK]ボタンをクリックします。



5. 設定完了後、"BOMバックアップサービス"の[開始]ボタンをクリックします。



# 第3章 アンインストール

## 1. アンインストール前の事前準備

BOM バックアップ機能をアンインストールする際、アンインストール作業前に以下の作業を実施する必要があります。

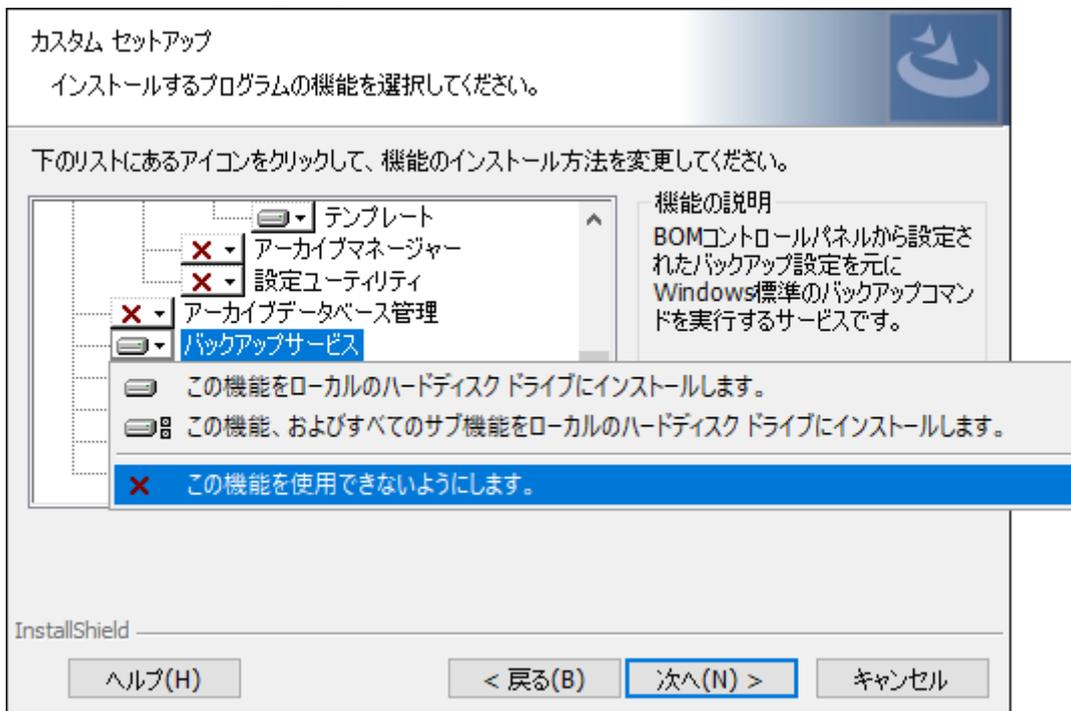
- 管理者権限を持つアカウントでログインしていること。
- BOM 8.0 マネージャーを終了していること。
- BOM 8.0 コントロールパネルを終了していること。

## 2. アンインストール手順

アンインストール作業は管理者権限が必要です。管理者権限を持つアカウントにてログオンしてから作業を行ってください。

※ 以降の手順は必要な作業項目の概要のみを抽出した概略手順です。BOM 8.0の詳細な導入手順は、'BOM for Windows Ver.8.0 インストール マニュアル'を参照してください。

1. BOM 8.0のインストールパッケージに格納されている"autorun.hta"を実行し、インストールランチャーを起動します。
2. "BOM 8.0 のインストール"直下にある "基本製品"をクリックし、セットアップウィザードを起動します。
3. "プログラムの保守" 画面まで進め、"変更" ラジオボタンが有効になっていることを確認して[次へ]ボタンをクリックします。
4. "カスタムセットアップ" 画面で "バックアップサービス" のアイコンをクリックし、"この機能を使用できないようにします。" を選択して [次へ]ボタンをクリックします。



5. 以降はセットアップウィザードに従って、"BOM バックアップサービス"のアンインストールを完了します。

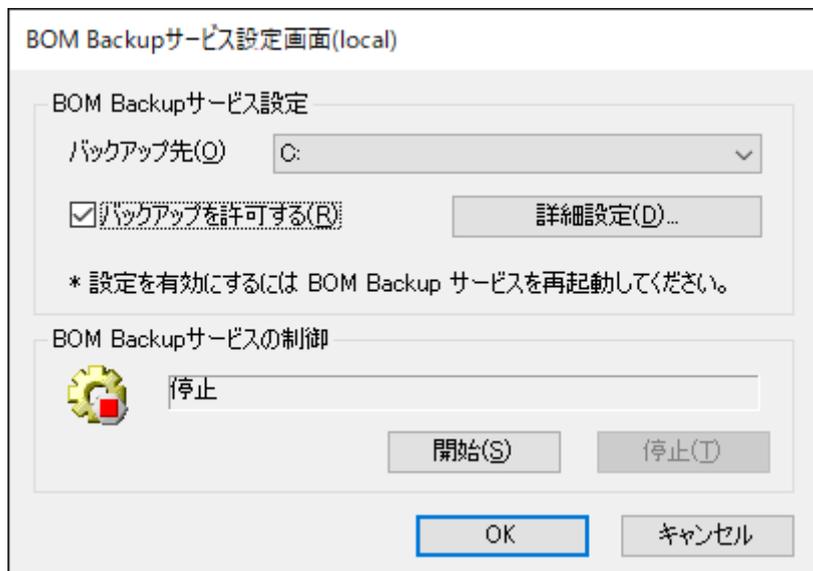
## 第4章 バックアップサービスの詳細設定

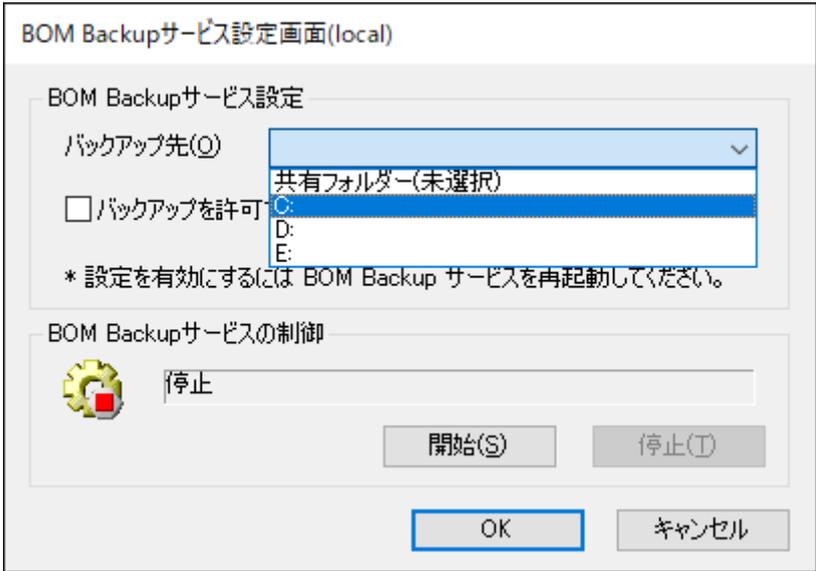
BOM Backupサービスでは、バックアップ先を指定することや、フォルダー・ファイル単位でバックアップすることが可能です。

また、定期的にバックアップ処理を実施する様に設定することも可能です。

### 1. BOM Backupサービス設定画面

BOM Backupサービス画面では、バックアップ先の指定やBOM Backupサービスの制御を行うことが可能です。



項目	説明
"バックアップ先"プルダウン	バックアップ先を指定します。指定できるのはローカルドライブ、共有フォルダーのみです。 
"バックアップを許可する"チェックボックス	"バックアップを許可する"チェックボックスのチェックを入れることで、[詳細設定]ボタンで指定した内容に基づいたバックアップ処理が実行されます。
[詳細設定]ボタン	詳細設定画面が開きます。詳しくは「 <a href="#">BOM Backupサービス詳細設定画面</a> 」を参照してください。

項目	説明
"BOM Backupサービスの制御"フィールド	<p>"BOM Backupサービス"の「開始」「停止」処理を行うことができます。</p> <p>開始：BOM Backupサービスを「開始」します。</p> <p>停止：BOM Backupサービスを「停止」します。</p> <p>【開始アイコン】 </p> <p>【停止アイコン】 </p>

## 2. 共有フォルダーの指定について

"バックアップ先" プルダウンで "共有フォルダー" を指定した場合、別ウィンドウで以下の画面が表示されます。

※ 共有フォルダーを出力先として指定した場合、バックアップされたイメージデータは常に1世代分のみしか保存されません。

**共有フォルダーの指定**

共有フォルダー

場所(L)

ユーザー名(U)

パスワード(W)

バックアップデータのアクセス制御

共有フォルダーのアクセス制御に従う(D)

接続ユーザーの資格情報を使用する(D)

OK キャンセル

項目	説明
場所	Windows OS上で設定した共有フォルダーを指定します。
ユーザー名	共有フォルダーへ対して有効なアクセス権を付与しているユーザー名を指定します。
パスワード	入力したユーザー名に対するパスワードを入力します。
バックアップデータのアクセス制限	バックアップを行ったデータへ対し、付与するアクセス権限を指定します。

### 3. BOM Backupサービス詳細設定画面

BOM Backupサービス詳細設定画面では、バックアップの実行時刻やバックアップ対象を指定することが可能です。

**BOM Backupサービス詳細設定**

**バックアップ情報**

バックアップ先

実行時刻(D) 2022/03/05  1:00:00  から 7  日  間隔

タイムアウト(D) 3  日

実行に失敗した際、リトライする(R) 1  時間  おきに 3  回試行する

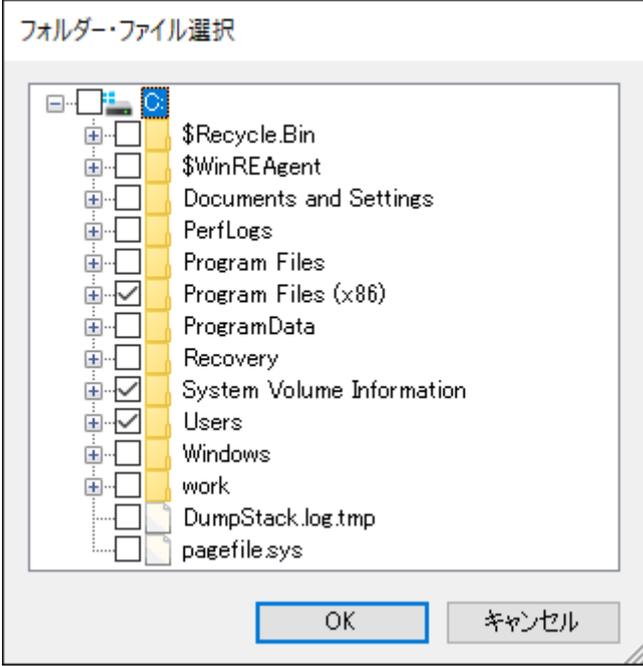
**バックアップ対象**

システム(Y)

**VSSの設定**

VSSコピーバックアップ(バックアップ履歴なし)(C)  VSS完全バックアップ(バックアップ履歴あり)(E)

項目	説明
バックアップ先	BOM Backup設定画面で指定したバックアップ先が自動入力されます。
実行時刻	バックアップを実行する日付、時間、バックアップを定期的に行う間隔を指定します。
タイムアウト	タイムアウト間隔を指定します。
"実行に失敗した際、リトライする"チェックボックス	バックアップ実行時に失敗した場合、リトライを行う際はチェックボックスにチェックします。 また、リトライを行う際はリトライ間隔およびリトライ回数を設定します。
"システム"チェックボックス	システム回復に必要なボリューム (通常は C:) がバックアップ対象になります。
[サイズ確認]ボタン	BOM Backup サービス画面で設定したバックアップ先の空き容量を表示します。 バックアップ対象で指定したバックアップを行う総容量を表示します。

項目	説明
[項目追加]ボタン	<p>バックアップ対象を追加する場合にクリックし、"フォルダー・ファイル選択"画面でチェックを入れたバックアップ対象が、"バックアップ対象"フィールドへ追加されます。</p> 
[項目削除]ボタン	<p>"バックアップ対象"フィールドに表示されているバックアップ対象を削除（バックアップ対象から外す）します。</p>
"VSSの設定"フィールド	<p>バックアップ履歴やトランザクションログをバックアップするか選択します。</p>
VSSコピーバックアップ (バックアップ履歴なし)	<p>VSS完全バックアップを指定後、バックアップを実行した場合、バックアップ履歴やトランザクションログはバックアップされません。</p>
VSS完全バックアップ (バックアップ履歴あり)	<p>VSS完全バックアップを指定後、バックアップを実行した場合、バックアップ履歴やトランザクションログもバックアップされます。</p>

## 第5章 バックアップファイルのリストア

---

BOM バックアップ機能は Windows OSの "wbadmin.exe" を使用してバックアップを実行しています。そのため、リストアは "wbadmin.exe" コマンドで実施してください。

"wbadmin.exe" の使用方法および、コマンドの詳細は、マイクロソフト社の技術情報を参照してください。

## 第6章 イベントログメッセージ一覧

ID	エラーメッセージ	種別	エラーメッセージ
1000	MXH_SERVICE_INSTALL_SUCCESS	情報	BOM バックアップサービス インストール 成功
1001	MXH_SERVICE_UNINSTALL_SUCCESS	情報	BOM バックアップサービス アンインストール 成功
7000	MXH_SERVICE_START_SUCCESS	情報	BOM バックアップサービス を開始しました。
7001	MXH_SERVICE_STOP_SUCCESS	情報	BOM バックアップサービス を停止しました。
7002	MXH_SERVICE_START_BACKUP	情報	BOM バックアップサービス がバックアップを開始しました。
7003	MXH_SERVICE_FINISH_BACKUP	情報	BOM バックアップサービス がバックアップを終了しました。
7004	MXH_NEXT_EXECUTE_TIME	情報	次のバックアップ実施予定時刻は %1 です。
7005	MXH_SERVICE_EXEC_RETRY	情報	BOM バックアップサービス を再試行します %1
7006	MXH_SERVICE_NO_EXEC_BACKUP	警告	BOM バックアップサービス を開始しましたが、バックアップは実行されません。( %1)
7007	MXH_NO_EXECUTE_BACKUP	警告	バックアップは実行されません。 %1
7008	MXH_SERVICE_INITIALIZE_FAILED	エラー	BOM バックアップサービス の初期化に失敗しました。( %1) BOM バックアップサービス を停止します。
7009	MXH_SERVICE_LICENSEERROR	エラー	有効なBOM8ライセンスが存在しません。BOM バックアップサービス を停止します。
7010	MXH_SERVICE_NOT_INSTALLED	エラー	Windows サーババックアップがインストールされていません。
7011	MXH_SERVICE_TIMEOUT	エラー	BOM バックアップサービス はタイムアウトとなりました。

ID	エラーメッセージ	種別	エラーメッセージ
7012	MXH_SERVICE_NOT_BACKUP	エラー	(バックアップ失敗時の任意メッセージ)

---

## **BOM for Windows Ver.8.0 バックアップ機能ユーザズマニュアル**

2022年5月9日 初版

2025年1月31日 改訂版

著者・発行者・発行

セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン 8.0.20.0

(C) 2022 SAY Technologies, Inc.